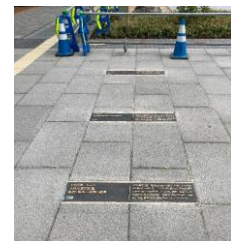


1. 設置目的

くまもとの地に歴史を刻む意図で地面に歴史サインを設置することで、多くの人がこのサインの前で立ち止まり、熊本の歴史に興味を持っていただくとともに、ここをきっかけに、次の観光地へと足を伸ばしていただくことを目的として設置。

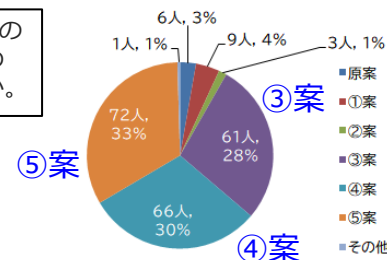


歴史サイン設置状況
(撤去前)

2. 設置後の経緯

- R3.4 歴史サイン設置完了後、供用開始
 - R3.5 市民からSNS等で、「天皇をはじめ熊本の歴史を踏んでしまう」、「別の場所に移してほしい」等の意見あり
 - R3.6 R3年第2定例会で同様の意見あり。
 - R3.9 R3年第3定例会で代替案5案を提示。これらを踏まえ、撤去し保管。
 - R3~R4 アンケート調査を実施(サンプル数: 402)
- 再設置について約7割が肯定的。デザインについては突出した案なし。
- R5.3 桜町・花畑周辺地区まちづくりマネジメント懇談会
- 「台座型が良い」、「可能な限り再利用した方が良い」等の意見あり。

Q: 再設置する場合のデザインはどの案が良いですか。



3. デザイン及び配置 (案)

- ・6基/箇所を集約することで、35基を全て再利用(1基分の余白については、今後の地歴を刻むスペースとして空けておく)
- ・台座の一部に熊本地震で被災した熊本城天守閣瓦を活用(「熊本城と庭つづき」のコンセプト及び熊本地震の記憶を継承)
- ・辛島公園側、熊本城側の両面にサインを配置することで、どちらからもサインに気づくことができ、散策のきっかけとする。
- ・花畑広場(シンボルプロムナード、辛島公園)で通行やイベント利用等の支障にならない場所に配置
- ・辛島公園(視点場)に設置することで、熊本城を見ながら、熊本城の歴史に触れてもらう機会を創出
- ・辛島公園から熊本城に向かって時代を遡る順で配置
- ・今年度、詳細の仕様を検討し、R6年度再設置予定。

